

## 頭蓋オステオパシーセミナー 基礎&臨床編

日程:①2021/4/25(日) ②2021/6/6(日) ③2021/7/4(日) ④2021/8/1(日)【全4回】

時間:10時~16時(終了時刻は延長する場合があります)



講師:神永叙子 Ostéopathe D.O.  
JOMACO (JOMA 認定オステオパス)

スティル博士が述べた「身体はひとつのユニットである」というオステパシー哲学を実践する為、従来の枠に囚われず、解剖学・生理学に、生体力学・構造・生体軸をリンクさせた 非侵略的アプローチ法を研究し実践しています。

本来持つ治癒力を、最も引き出せる身体の状態へと導くことを理念とし、スティル博士が大切にされた「体液のルール」を重視し、液体の流れを改善するアプローチ法も研究しています。

高齢者、妊婦さん、赤ちゃんから小児まで幅広く、オステオパシーを実践。

身体の声に耳を傾けて、身体に関連性を読み解く、オステオパシーアプローチを研究しています。

すべての生命は、エネルギーとして、そして動きとして現れます。環境に適応し、身体を機能させる為の、その動きには、宇宙の英知が必要です。スティル博士は、この宇宙の英知が存在し、人体に作用していることを知っていました。スティル博士は、宇宙の英知が、脳脊髄液を通して働いていると考え、「脳脊髄液は、人体の至高の要素である」と述べました。

頭蓋オステオパシーの分野を開拓したウィリアム・ガーナー・サザーランド博士も同様に、脳脊髄液は、生命の原理を受け取るものであると考え、脳脊髄液は「生命の呼吸」であり、「人体の最高の知性的で生理学的な機能」とみなし、人体を脳脊髄液が司令していると述べました。サザーランド博士は、この脳脊髄液の知性を、「間違いのない効力」として、頭蓋膜性関節病変の診断と矯正に利用しているのです。サザーランド博士は、頭蓋オステオパシーは、体液の化学作用と中枢神経系に直接作用する為、学ぶべき必須項目であると述べました。オステオパシーを志すなら、そして身体の本物の治癒を目指すなら、人体の至高要素の「脳脊髄液」をコントロールする、「頭蓋オステオパシー」を学ぶべきだと思います。

今回のセミナーは、頭蓋オステオパシーの歴史や意義を知ると共に、クラシックな基礎的テクニックを学ぶので、初心者の方にもお勧めです。更に、簡単にできる効果的な臨床アプローチを組み込みます。以前に行った初級編でお伝えしたオリジナルテクニックとは違うものですが、日頃から頭蓋オステオパシーを研究している神永解釈も含め、翌日から臨床で使えるテクニックです。

実技を多くできるようにカリキュラムしています。実技では、実際の圧、短時間に効果をだすコツなどを、

伝授します。以前、私が習ってきた時は、頭蓋は、じっくり時間をかけてアプローチすることが前提とされており、それにあう施術者の姿勢も教わりました。でも私は短時間で効果を出したいと考え、その方法を作り上げています。何故なら、頭蓋エリアは身体と密接に関連しているので、臨床では、頭蓋にばかり時間を掛けては、最適な効果を出すことができないからです。スピーディに診断しアプローチをして、成果を出していなければならぬのです。頭蓋オステオパシーをやる時は、脳脊髄液の動きを追って、じっと手を頭に当てたまま動きが大きくなるのを待つだけでは足りません。もっと戦略的に頭蓋にアプローチをする方が、効果を引き出せるのです。

そして今回は、私が身体を診断するオリジナルのリーディング法もご紹介します。身体を立体的に捉え、体内をスキャンしていきます。頭蓋エリアはもちろん、時間があれば、身体全体のリーディング法もお伝えします。「身体の状態は、どうなっているのか？それはどこが問題なのか？どんな風に問題の連鎖が起きているのか？どこからアプローチをするべきなのか？」が見えてくるリーディング法です。このやり方は、なんとなくそう感じるという曖昧なものではなく、証拠を集めながらリーディングする方法なので、やる人によって結果が変わるということはなく、また自分がやったテクニックが、正しく作用しているかも、確認することができます。きっとワクワクすると思いますよ。

## ワクワクする楽しい頭蓋オステオパシーの世界を、一緒に学びましょう！

\* セミナーでは、受講生ひとり一人のフォローをしたいので、受講人数を制限する可能性もあります。

希望される方は、早めに申し込みをして下さい。

### ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ 講義内容 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

#### ■ 第1回目:2021/4/25(日):

- ・頭蓋オステオパシーの歴史・意義など
- ・触診 ・脳脊髄液の動きを捉える ・脳脊髄液の動きへの様々なアプローチ ・CV-4

#### ■ 第2回目:2021/6/6(日):

- ・側頭骨①、頭頂骨、前頭骨、後頭骨・頸椎のテクニック。臨床アプローチ。

#### ■ 第3回目:2021/7/4(日):

- ・蝶形骨、仙骨、脊柱のテクニック。臨床アプローチ。

#### ■ 第4回目:2021/8/1(日):

- ・側頭骨アプローチ2 ・V-Spread(新解釈) ・頭蓋エリア診断 ・神永リーディング法

提示している内容の詳細は、よりよい内容にする為に、変更になる可能性もありますので、HPでチェックしてください。また講義の進行の状況により、内容が変更になることがあります。ご了承ください。